

各位

平成 21 年 9 月 2 日
株式会社ジョイフルカンパニー
丸の内キャピタル株式会社

ジョイフルカンパニーと丸の内キャピタルの資本提携に関するお知らせ

この度、株式会社ジョイフルカンパニー（以下、「ジョイフルカンパニー」）と丸の内キャピタル株式会社（以下、「丸の内キャピタル」）は、資本提携（以下、「本件提携」）を行うことに合意いたしました。本件提携に伴い、丸の内キャピタルが運用する丸の内キャピタル第一号投資事業有限責任組合は、ジョイフルカンパニーによる第三者割当増資を引受ける予定です。

ジョイフルカンパニーは、1975 年の創業以来、着実に事業を拡大し、現在ではグループ全体で売上高が約 1,700 億円の規模となりました。一方、ホームセンター市場は、近年、市場全体の成長が鈍化しており、更に、今年に入ってから世界的な景気悪化の影響から個人消費が低迷するなど、依然厳しい環境が続いています。その様な環境下、更なる成長を実現させるための手段として、将来の株式公開を念頭に、幅広い視点から経営を助言し得る外部の人材を活用し、コーポレート・ガバナンスを強化することを模索しておりました。その中で、議論を重ねた結果、丸の内キャピタルの支援を得ることが、早期の企業統治体制の強化および企業価値向上に繋がるという結論に達し、本件提携への合意に至りました。

丸の内キャピタルは、ジョイフルカンパニーの独自の経営方針とユニークな事業戦略を高く評価しており、本件提携に関する検討を重ねて参りました。その結果、本件提携は、ジョイフルカンパニーが掲げる「顧客第一主義」、「地域一番店の店作り」の経営方針を一層強化するものであり、ジョイフルカンパニーの企業価値向上に資するものであると判断しました。本件提携後、丸の内キャピタルは役員等の派遣を通じ、コーポレート・ガバナンスの強化、株式公開に向けたサポートを行う予定です。

本件提携に伴い、丸の内キャピタルからは、社外取締役 2 名を派遣し、ジョイフルカンパニーの現経営陣と共に企業価値の最大化に向けて積極的に取り組みます。また、両社は協力し、早期の株式公開実現を目指します。

以上

本件に関する問合せ先

〒300-0813 茨城県土浦市富士崎 1-16-1

株式会社ジョイフルカンパニー
代表取締役専務 長谷川 博紀
電話：029-822-2215

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-3-1

東京銀行協会ビル 9 階
丸の内キャピタル株式会社
ディレクター 青木 俊哉
電話：03-6212-6492

ジョイフルカンパニーについて

事業内容 関東地方にて大規模ホームセンタージョイフル本田を複数店展開
住所 茨城県土浦市富士崎1-16-1
代表者 本田 昌也
設立 1975年12月
売上高 グループ全体で約 1,700 億円

丸の内キャピタルについて

事業内容 投資事業有限責任組合財産の管理及び運営経営コンサルタント業務等
住所 東京都千代田区丸の内1-3-1 東京銀行協会ビル9F
代表者 矢坂 修（代表取締役社長）
設立 2008年4月

丸の内キャピタルは、三菱商事と三菱 UFJ フィナンシャル・グループの子会社である三菱 UFJ 証券により 2008 年 4 月に設立された投資ファンド運営会社であり、三菱商事が有する幅広い事業ネットワーク・ノウハウと、MUFG グループの広範な顧客基盤・金融ソリューション力を最大限に活用することにより、投資先企業の企業価値を持続的に向上させることを目指しております。また、投資スタンスとしては、投資先企業との強く安定的な信頼関係を築くことにより、投資先企業が本来有する潜在的な価値を実現することを目指しております。

丸の内キャピタルが運用する「丸の内キャピタル第一号投資事業有限責任組合」は、丸の内キャピタル、三菱商事、三菱東京 UFJ 銀行、MUS プリンシパル・インベストメンツ（三菱 UFJ 証券株式会社の 100%子会社）から総額 1,000 億円のコミットを得ており、主に国内企業に係る事業再編、ノンコア事業分離（カーブアウト）、事業承継等の資金ニーズに、エクイティ、メザニン、デットファイナンス等の様々な投資手法を用いて積極的に資金提供していくことを目指しております。